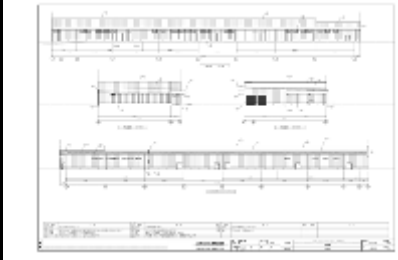


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アクロスプラザ大東 新築工事	階数	地上1F
建設地	大東市氷野2丁目230番1の一部, 赤...	構造	S造
用途地域	第一種住居地域, 準防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2016年4月27日
敷地面積	7,103 m ²	作成者	大和ハウス工業 藤井
建築面積	2,843 m ²	確認日	2016年4月28日
延床面積	2,750 m ²	確認者	大和ハウス工業 藤井



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物内外へ配慮のなされた、地域住民の生活の基盤となる物販店舗として計画されている。		
Q1 室内環境	適切な量の断熱材の施行をしている。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	階高のゆとり、空間の形状・自由さ等、高いスコアを獲得し、空間のゆとりを生み出している。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内緑化につとめている。	
LR1 エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化を図っており、高いスコアを獲得している。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	LGS+仕上げによる、部材の再利用可能性向上。断熱材にグラスウールを使用し、汚染物質含有材料を回避。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	LCCO ₂ 排出率89%に削減。広告物照明の屋外への光害に配慮した計画。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0024

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)アクロスプラザ大東 新築工事(物販棟)					
		建設地	大東市氷野2丁目230番1の一部,赤井二丁目241番3					
		用途/区分	物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	4.3	3	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.0		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		建物外皮の熱負荷抑制。および設備システムの高効率化に配慮。						